新春のおよろこびを申しあげます

月潟村長

金子由征

輝かしい平成四年の新春を迎え、謹んでみなさまのご健勝をお喜び申し上げます。

昨年中は公私にわたり一方ならぬご指導ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。これからも、みなさまの暖かいご支援を頂きながら、初心忘れることなく村民総参加のもとで各種事業を進めて参る所存であります。

さて、わが国を取りまく諸内外情勢は厳しいものがあります。ガットのウルグアイラウンドでは、米の輸入開放を迫られ、日本の農業は大きな曲がり角にたたされていることは、すでにみなさんご承知のことと思います。一方、経済面では岩戸景気、いざなみ景気以上に経済が進行し、バブル経済と呼ばれる金余り現象が続きました。さらに、金融の引き締めなどにより企業活動が低下、このため行財政に税というかたちで大きな影響がかかってきました。そんな中において、いかに最小の経費で最大の事業効果をあげられるかに精一杯の努力をしていきたいと考えている次第であります。

ここで、平成四年度の主要事業についてご説明して参ります。平成四年度では、中学校校舎の早期完成・部分開校。水資源を確保しての水道施設の整備。また、交通対策としての歩道新設、農業活性化のためのカントリーエレベーターの早期実現。さらに、文化的交流のために北海道月形町との姉妹町村締結を柱としての行政を進めて参る所存であります。

中学校建設については、平成元年度に用地取得、平成二年度に用地造成工事、平成三年・四年度の二か年で校舎棟建設を進め、さらに、平成四年度に食堂棟、平成五年度に体育館の建設をと計画しています。なお、今年九月を目処に部分開校ができるように努めて参ります。

また、水道施設については、人口の増加や工場誘致による水利用の増大に対応するために、平成四年度に施設拡張のための用地を取得し、平成四・五年度の二か年で施設整備を進め、水利権の確保に努めて参ります。

今後の農政については、月潟村を良質米生産地として体質強化を図ります。さらには、バラ流通などによるトータルコストの低減を実現する施設として、カントリーエレベーターの導入を計画いたしております。これらにより農村社会の連帯感を強め、生産組織の育成強化を積極的に進め、農機具などの過剰投資を抑えながら良質米の安定生産に努めて参ります。

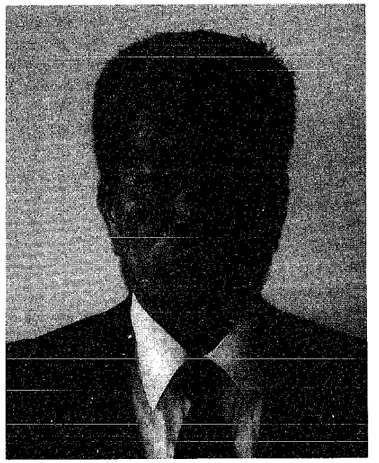
ほかには、今年も農村総合整備モデル事業の継続事業を主体としての生活関連集道の促進を始め、宅地排水居住環境整備に努めて参ります。また、保健福祉については、急速に進む高齢化社会の対応策として平成四年四月一日から社会福祉法人月潟村社会福祉協議会を設立し、高齢者の単独世帯や在宅寝たきり者、病気で体が不自由で悩んでいる家庭に、生き甲斐をもって生活ができるような福祉対策の向上に努力して参ります。

本村の商工業については、ここ数年、年間販売額や製造品出荷額などを見ても安定はしているものの、村外各地での大型店の進出による影響が心配されます。このためにも、商店街の活性化をはじめ、地場産業や後継者の育成、街の美化運動、技術向上と販売路の拡大を図ります。また、村民の村内就労の場を確保するためにも工場誘致を促進して参ります。

また、昨年から進めてきた北海道月形町との交流事業もお互いの理解が得られ、今年二月に姉妹町村締結の運びとなりました。「つきがた」という共通の地名から、より友好親善を深め相互の理解と強調により、産業、文化、教育、観光などと人的交流を密にしていけるものと期待しております。

これからも、円満な村づくりの実現のため一層の努力をいたす所存でありますので、本年も倍旧のご理解とご指導を賜わりますよう心からお願い申し上げますとともに、村民みなさまのご多幸とご健勝をお祈りいたしまして、年頭のごあいさつといたします。

謹んで新春のおよろこびを申しあげます



月潟村議会議長

和平晃

年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

平成四年の輝かしい新春を迎え、謹んでみなさまのご健勝をお喜び申し上げます。

また、村民のみなさまには、日ごろから村政発展のため本議会に対する暖かいご理解と絶大なるご協力を賜り、議会を代表いたしまして心から厚くお礼申し上げます。

昨年四月の統一地方選挙の後、議員各位のご推挙をいただき、図らずも議長の要職を仰せつかり、早くも七か月が経過いたしたところでございますが、その間、微力ではございますが、村政の発展と議会の円滑な運営を常に念頭におき努力してまいったところであります。

さて、昨年はまさに世界史に特筆すべき激動の年でありました。中東湾岸戦争に始まり東欧諸国の混乱、そして年末にはソビエト連邦の消滅という予想もしなかった結果で幕を閉じたわけであります。

国内におきましてもバブル経済の崩壊による企業の業績の悪化や景気の停滞から影響する税収の落ち込みは著しいものがありました。それに伴い、先に発表された平成四年度政府予算案においては五年ぶりの緊縮型予算となり、歳入不足を補うために臨時増税や国債の大幅な伸びを予定しております。一方、歳出においては地方交付税が前年当初に比べ一・三%の減となり、教育費などの国庫負担の一部を地方に分担を求めるなど地方財政にとっては大変厳しいものとなっております。

加えてガット・ウルグアイラウンドの包括協定案の中には「例外なき関税化」が明記され、政府も苦しい対応を迫られているところであり、本村の基幹産業である稲作の先行きに一抹の不安が感じられるところであります。

このように厳しい状況の中におきまして、月潟村ではいくつもの大型事業が計画されております。昨年から平成五年度までの三か年計画で建設が進んでいる中学校建設事業、また本年度から本格的に実施される水道施設の拡張事業やカントリーエレベーターの建設などがそれであります。

ご承知のとおり本村財政の三分の二は国県などからの交付金、いわゆる依存財源により占められており、財政基盤の脆弱な本村では、今後厳しい財政運営を強いられることが予想されるところであります。

ただいま申し述べた事業のほかにも、快適な生活環境の整備のため下水道も重要な課題であろうと思うわけであります。また、みなさまご承知のとおり新潟県は下水道の普及率が全国で下位に位置しており、幸い本年度西川流域下水道事業が採択され、政府予算案に調査・測量費が計上される見込みであります。

また、急激に進む高齢化社会や福祉事業の充実のため四月には社会福祉協議会が法人化され、より一層きめの細かい福祉が実現できるものと喜んでおるところであります。

今後、社会情勢が複雑多様化することに伴い、行政需要は質・量ともますます増加することが予想されるわけでありますが、私ども議員一同、議決機関といたしまして村民生活の安定と向上を図るため、より一層の研鑽に励み、創意工夫を重ね、村民のみなさまのご期待にお応えできるよう決意を新たにいたしております。どうか本年も相変わりませず旧に倍するご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

村民のみなさまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。